

総合計画の変遷

計画名	大旭川建設計画	旭川市域 まちづくりの方向	旭川市 総合開発計画	旭川市 総合開発計画	旭川市 新総合開発計画	第6次旭川市 総合計画	第7次旭川市 総合計画
計画書 副題			・人間都市をめざして	・信頼と連帯による希望都市をめざして	・希望と活力が大雪山連峰にこだまする躍動都市を目指して	・水と緑に輝く北の拠点・旭川	・人が輝く北の文化のかおるまち
策定 年次	昭和32年2月	昭和40年5月	昭和47年10月	昭和54年12月	昭和62年1月	平成8年12月	平成18年1月
計画 期間	昭和31～41年度	昭和40～50年度	昭和47～55年度	昭和54～62年度	昭和61～平成7年度	平成8年～17年度	平成18年～27年度
都市像 及び 重点 目標等	(指標) ・居住地として快適な旭川をつくろう ・投資地として有効な旭川をつくろう (重点目標) ・産業基盤の整備 ・産業の高度化 ・生活文化の向上と生活の保障	(重点目標) ・さわやかな明るいまちづくりへ ・香り高い文化都市建設へ ・家庭生活と結ぶ心豊かな福祉社会確立へ ・力強い産業への確立へ (計画策定の前提) ◎広域行政の観点から1市2町3村(旭川市, 神楽町, 東川町, 東鷹栖村, 高鷲村, 東神楽村)1,205.6km ² を市域として設定	(都市像) ・人間都市を基調として 1 自然と融和する都市(自然都市) 2 北方文化の中心都市(研究学園都市) 3 創意ある産業にささえられる都市(知的産業都市)	(計画の目標) ・信頼と連帯による希望都市を目指して (計画の内容) ・市民生活の向上 ・教育文化の高揚 ・明るい社会の創造 ・都市機能の充実 ・産業の振興 ・行政の近代化 ◎基本構想は前計画を引き継ぎ, 基本計画のみ策定	(都市像) ・希望と活力が大雪山連峰にこだまする躍動都市 (目標) ・自然と語り, 自然に学び自然と共に生きるまち ・一人ひとりが健康やかに生き, 安らかに暮らせるまち ・力強い産業が, 豊かな明日を築くまち ・個性と魅力あふれる北方文化の育つまち ・広い視野で考え, 世界の舞台で活躍するまち	(計画の目標) 「水と緑に輝く北の拠点・旭川」の新たな創造に向け, 新しい時代にふさわしいまちづくりを目指して (都市像) ・生きがいと安心ひろがる「生涯充実都市」をめざして ・にぎわいと活力みなぎる「交流拠点都市」をめざして ・うるおいと魅力あふれる「環境調和都市」をめざして	(基本目標) ・愛着と誇りを持ち, 市民が活躍するまち ・人のやさしさとやすらぎを実感するまち ・人が行き交い元気な経済が展開するまち ・市民主体の健全で公正な自治の運営 ◎事業中心型から目標中心型へ
計画 人口	昭和41年 300千人	昭和50年 386千人 (広域圏を含む)	昭和55年 356千人	昭和62年 408千人	平成7年 407千人	平成17年度 380千人	平成27年度 350千人